

樹木葬

～自然葬を選択する～



定期的に行っています樹木葬の見学会を先月10/14(月)に行いました。

30名ほどの皆様をご案内させて頂き、20ヶ所の予約を受け付けました。参加された方々からは「万一の際に葬儀から関わってもらえるので安心」と仰って頂けます。樹木葬に興味があり、ご検討される方にとって「単に購入する」だけでは不安なのではないでしょうか。

なぜなら、樹木葬を選択する最大の理由として「将来子供や親族に迷惑をかけたくない」との思いがあり、墓地を購入しただけでは万一の際の備えにはなっていないと考えられるからです。

悲しい事ですが、万一の際はご家族にとって突然に訪れます。駆けつけてから葬儀社を選択する際も本当にあまり時間がありません。

当社は冠婚葬祭業であり、万が一葬儀が必要と思われる時からお手伝いが出来ます。ご相談から、万一のお迎え～葬儀からお墓に至るまで、心を込めて対応させて頂きます。子供様の事を考えられ、樹木葬を選択された想いもお伝えさせていただきます。

今年最後となりますが、今月11/16(土)10:00～16:00に城見ヶ丘霊園にて樹木葬見学会を行います。

現地では、無料で葬儀相談・墓じまい相談も受付けて頂いております。

大変人気の為、販売区画も残りわずかとなっております。興味のある方は、是非一度お越し下さい。お待ちしております。

当日は、ドリーマー高知葬祭館・ドリーマー神田葬祭館より送迎バスをご用意しております。ご利用下さいませ。

葬儀・多様化された葬儀
「樹木葬」地中に埋葬し「自然」に還る
 葬儀とは、故人の死を悼み、その死を告げ、故人の霊を慰め、また、生きた者への教訓や戒めを伝えることである。故人の死を悼み、その死を告げ、故人の霊を慰め、また、生きた者への教訓や戒めを伝えることである。故人の死を悼み、その死を告げ、故人の霊を慰め、また、生きた者への教訓や戒めを伝えることである。



▲暮らしの情報「令和元年5月号」で紹介されました。



Dreamer corporation 株式会社ドリーマー
高知葬祭館
 〒780-0071 高知市高橋11-24
 TEL:088-883-8611
 FAX:088-882-7827

11月16日(土) 現地見学会開催
 10:00～16:00
 墓じまい、墓地の無料相談会も同時開催中

送迎バス 午前の部	送迎バス 午後の部
10:00発 ドリーマー神田葬祭館	13:00発 ドリーマー高知葬祭館
10:30発 ドリーマー高知葬祭館	13:30発 ドリーマー神田葬祭館
12:30頃着 ドリーマー神田葬祭館	15:30頃着 ドリーマー高知葬祭館
13:00頃着 ドリーマー高知葬祭館	16:00頃着 ドリーマー神田葬祭館



Dreamer corporation 株式会社ドリーマー
神田葬祭館
 〒780-8040 高知市神田640-1
 TEL:088-856-5550
 FAX:088-856-5355

お問い合せ お申し込みは 受付時間 AM10:00～PM6:00(年中無休) TEL:088-883-8611

お葬式をどこの葬儀社でやるのか、費用はいくらかかるのか、どこまでの付き合いの人を呼ぶのか、**そもそも何が分からないのかさえ良く分からない**けど、一度お葬式についてきちんと考えたいと思う。



あなたのための **事前相談** 実施中

テレビCM 放送中!!

毎日10:00～17:00開催

ドリーマーの事前相談で「お葬式のやり方」がわかります!

さらに「ご相談」された皆様に当社で使える5,000円施行割引券を進呈中

ドリーマー
お葬儀かわら版
 第55号

～備えあれば憂いなし～ part2

前回は搬送業者を決めておきましょう!とお話をさせて頂きました。
 今回は遺影写真について、これもまたご家族の方で悩まれる所ではないでしょうか。特に翌日がお通夜の場合などで、事前に決めていなければ慌ててしまつて後悔(´_`); 「この写真で作直してほしい」って後日頼まれることもしばしば。そもそも遺影写真のルーツってご存知ですか?

発祥については諸説ありますが、江戸時代にさかのぼります。その時代は家族を対象とした遺影写真はなかったようで、亡くなった歌舞伎役者を描いた浮世絵=死絵が遺影の起源ではないかと云われております。
 また、明治10年の西南戦争では死を覚悟した軍人の間で肖像写真の撮影が流行ったそうである前に遺影を撮っておこうという準備はこの時代にもあったのです。

また、戦死者の供養の際に自宅に故人の肖像写真及び肖像画を飾ったのが現代にまで続く遺影写真の始まりではないかなと思います。
 そういえば、遺影ではないですが自分の祖父も軍服姿で小銃を構えた写真があったのを思い出しました。明治・大正・昭和・平成・令和と葬儀のあり方も変化しております。仏間に飾られた遺影写真もその象徴の一つですね。現在では明るい色の写真類に旅先での楽しく笑う姿や、写真館などで撮られている写真などもあり、葬儀後に残る故人の生きた証の一つでもあります。家族の方が困らないよう自分のお気に入りの写真を託したり、生前に寿永写真として撮影しておきましょう!

